

「肉は一食50gの小分け、切り身魚一切れも2食にわけて食するのが我が家の物価対策です」（江刺・70台・男）
「給食費が高すぎます。無償化を願います」（水沢・30代・女）
「子どもを産めるようにしてほしい」（衣川・30代・女） 日本共産党の「暮らし・市政アンケート」に寄せられた声の一部です



アンケートにご協力を→



消費税5%減税へ

物価高から あなたの暮らしを守ります 日本共産党

1世帯1万円の国保税引き下げを

「高すぎて払えない」——悲鳴が上がっている国保税。市の判断で実行できる物価対策です。国費投入を求め、国保の積立金の一部を活用し、引き下げを実現します。

物価対策の直接支援

●市の会計年度任用職員、地区センターなど指定管理先の職員の待遇改善をはかります。
●医療・福祉施設への物価高騰分の支援を強めます。

民報おうしゅう

発行：日本共産党奥州市委員会

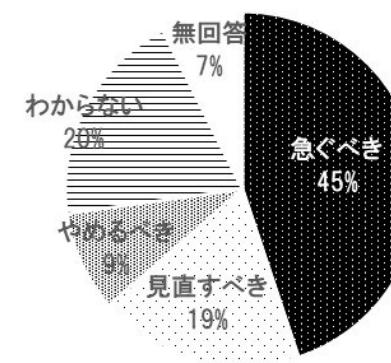
水沢大手町3-59 電話24-2021

2026年1・2月号外 ○日本共産党の政策についてお知らせします

新医療センター建設について

日本共産党「暮らし・市政アンケート」

回答400人の集計



まごころ病院・前沢診療所・衣川診療所を存続させ

新医療センターの

子どもが産めるまちに 早期建設を

総合水沢病院は、市内で唯一の感染症病棟です。年間1000件を超える救急搬送を受け入れており、地域医療に欠かせない病院です。胆沢・前沢・衣川の医療施設の存続とあわせ、築後52年たって老朽化した建物の早期改築を求めて、みなさんと力を合わせます。

奥州市議

佐藤みゆき



暮らし支える財源はココに

財政調整基金	84億円
減債基金	4.8億円
その他基金	141億円
国保基金	14億円

子育て支える4つのゼロ

- 学校給食費ゼロ（金ヶ崎町など県内11市町村が実施）を。
- 第1子からの保育料無料化（金ヶ崎町など15市町村が実施）へ。
- 学童保育待機者ゼロ
- 子どもの国保税均等割りをゼロに。

お年寄りに3つの安心を

- 年金で入れる特養ホームの増床で、待機者（早期に入所が必要な人が114人、県内最多）の受け入れを。
- 訪問介護事業所を支援し、在宅介護を支えます。
- 補聴器購入への補助を（県内15自治体で実施）。

奥州の「食」と「農」をしっかり守ります

- コメの生産はゆとりある需給に国が責任を果たすよう求めます。
- 農業機械の更新への助成制度をつくります（平泉では、購入費の3分の1・上限30万円を補助）。
- 所得補償・価格保障を整備します

気候危機打開・ジェンダー平等

- 公共施設に太陽光発電の設置。省エネ住宅建設・省エネ家電購入への補助。
- 市の幹部職員、各種委員会への女性登用
- 小中学校をはじめすべての公共施設の女子トイレに生理用品を配備します。

クマ対策

AIカメラでの監視、出没情報をリアルタイムで共有、ハンターへの出動手当と捕獲料の引き上げ、児童・生徒の登下校の送迎を支えます。

「核武装」、大軍拡、「スパイ防止法」……

戦争する国への暴走ストップ

対話と包摂の外交で平和なアジアを

みなさんと力合わせて実現してきました 市政を動かす日本共産党の5議席3つの力

①市民の願い実現の確かな力

♣ 物価対策

賃上げ支援金(従業員1人6~8万円)

市内329事業所・3,172人に対し、1億9千万円余が支給。業者のみなさんから歓迎の声が。

福祉灯油(1世帯7,000円)

9600世帯(市内世帯数の約2割)に支援。

全事業者対象に支援

法人8万円、個人事業主へ4万円の支援金。

トラック事業者・軽貨物運送事業者に加え、運輸代行業者にも燃油支援を実現。

全ての農家を対象に支援策を拡充

農家の要望を直接聞いて、赤字で売上500万円未満の農家も、支援の対象にすべきと主張し、実施へ。

♦ 子育て応援に全力

●高校卒業までの医療費窓口無料化を実現。

●第2子以降の保育料の無償化。

●就学前の子どもの国保税均等割りを半額免除へ。

2027年度から、高校卒業まで対象が拡大。全国の地方議会で共産党議員が粘り強く主張し続け、国を動かしました。

●学校給食費の物価高騰分の保護者負担をなしに。

♠ 安心の老後へ

特別養護老人ホーム230床の整備(2026年度末までに)の整備へ道開く。

♥ 小中学校の女子トイレに生理用品

保護者の要望を聞き、小中学校や公共施設を視察。議会で繰り返し取り上げ実施へ。感謝の声が寄せられています。

②市民とともに市政動かす確かな力 新医療センター 整備へ

2021年9月議会で、胆沢・前沢・衣川の市立医療施設の存続を求める3本の請願の紹介議員となり奮闘しました。それぞれの医療施設の存続署名数は、まごころ病院=11,537筆、前沢診療所=10,116筆、衣川診療所=3,031筆、住民の8割前後にものぼります。

2025年6月には、「新医療センターの早期建設を求める請願」の紹介議員となり、1票差で採択。こうした活動が、同年6月の医療センター整備計画の策定につながりました。

危険！消えたセンターラインを復活

「市道のセンターラインや交差点の停止線が消えたまま。事故も続発している。早く引き直して」——市民からの要望を議会で取り上げ、5年計画ですべての市道のラインを引くことを確約させました(2024年9月)。停止線とともにライン引きがはじまっています。

会派	共産					奥和会					奥州みらい				新奥会			公明		奥州ノート		無会派						
	議員氏名	佐藤みゆき	せがわ貞清	千葉あつし	菅原あきら	今野ひろふみ	門脇芳裕	高橋善行	東隆司	千葉和彦	小野寺満	高橋浩	中西秀俊	藤田慶則	菅野至	佐々木友美子	千葉康弘	廣野富男	及川佐重	小野寺重	小野優	及川春樹	高橋晋	飯坂一也	阿部加代子	宍戸直美	佐藤正典	加藤清
自給率向上	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	議長
消費税	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	議長
新医療センター	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○	議長
最低賃金	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	議長
私学教育	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	議長

市民の請願に対する賛否(会派は、現在の所属で表記。敬称略。○が賛成、×が反対)。「自給率向上」は食料自給率を向上させ「令和の米騒動」を繰り返さないための対策を求める請願(7年2月)、「消費税」は消費税5%減税を求める請願(7年6月)、「新医療センター」は新医療センターの早期建設を求める請願(7年6月)、「最低賃金」は最低賃金引き上げにともなう中小企業負担軽減を国に求める請願(7年9月)、「私学教育」は私学教育の充実・発展を求める請願(5年2月)。



市議・今野ひろふみ
市議・千葉あつし
市議・せがわ貞清
市議・佐藤みゆき
市議・千田みつ子
市党委員長
千田みつ子